

千葉県立中央博物館の

「古い道具と昔のくらし」展

1月13日(土)～3月11日(日)まで

※月曜日(振替休日の場合は火曜日)は休館です。

昔の人が使っていた道具を 見ることができます！
さわることができます！
知ることができます！

一度に体験・解説ができるのは1クラス(40人)までです。

1クラス30～40分が目安です。

クラス数・児童数が多い学校でもお受け
いたします。ご相談ください。



団体予約・展示解説等のお問い合わせ、お申し込みは

中央博物館教育普及課 田中(043-265-3776)まで

※出前授業をご希望の学校は、大利根分館へご連絡ください。(0478-56-0101)

古い道具(一部です)



しよいかご【背負籠】

田や畑で使う道具・お弁当、畑でとれたものなどを入れて、背負って運びました。



はがま【羽釜】

竈に乗せたときに、すきまから火がもれないように、まわりにつば(羽という)をつけた釜。台所の竈の上におき、毎日のごはんを炊いた。



ひふきだけ【火吹き竹】

大きい穴の方を口で吹いて、小さい穴から勢いよく息を吹き出し、火を強くするために使いました。



ちゃぶだい【卓袱台】

座って使う食卓です。ちゃぶ台が使われる前は、箱膳や平膳で食事をしていました。



だいこんおろし【大根卸】

大根をすりおろす道具です。竹で作られたものは、おにおろし、がりがりおろしともいいます。



おひつ【お櫃】

釜で炊いたごはんを入れて、食事の場所に運ぶ入れものです。



せんたくだらい【洗濯盥】 せんたくいた【洗濯板】

たらいに水を入れ、洗濯板の上で、洗濯するものをこすって洗いました。固形のせっけんが使われていました。



ちょうちん【提灯】

ろうそくを使った明かりです。火が消えないように、竹と紙で作った軽くて折りたたみができる袋で囲っています。おもに、夜の道を歩くときなどに使いました。



すみび【炭火】アイロン

炭火の中に入れて、その熱で布のしわをのばす道具です。空気を取り入れる穴と、煙突がついています。おもに、洋服に使います。



しんくうかんしきラジオ 【真空管式ラジオ】

ラジオの放送は、大正14年(1925年)より始められています。その後、日本中に放送されるようになって、すぐにニュースを知ることができるようになりました。



ブラウンかん【管】テレビ

テレビ放送が始まったのは昭和28(1953)年でした。当時はぜいたく品でしたが、皇太子(現天皇)ご成婚(昭和34年)や東京オリンピック(昭和39年)のテレビ放送が契機となり、爆発的に一般家庭に普及しました。



ダイヤルしきでんわ 【ダイヤル式電話】

0から9までの数字を右に止まるまで回して、相手に電話をかけることができます。